



# 常陸大宮市

# 議会広報

## 第6号

平成18年5月23日

発行 常陸大宮市議会

### ● 主な内容

第1回定例会	P. 2
一般質問	P. 7
意見書	P.14
臨時会	P.15
請願・陳情	P.16



交通ルールを守りましょう

# 平成18年度予算の主な事業

## 一般会計

### ◎総務関係

市内循環交通システム運行事業、総合計画策定事業、茨城大学との地域連携事業、チャイルドシート購入助成事業及び地域活性化交付金事業などです。

### ◎福祉関係

介護保険対象外の各種高齢者福祉施策の推進、地域ケアシステム推進事業、身体障害者及び知的障害者への支援費事業、放課後児童健全育成事業、民間学童保育事業、母子・父子福祉手当支給事業、出産祝い金支給事業、高齢者福祉タクシー事業及び養護老人ホームへの保護措置事業などです。

### ◎衛生関係

健康づくりの推進に要する経費、母子保健計画策定事業、精神障害者共同作業訓練助成をはじめとする精神障害者支援事業、合併処理浄化槽の普及促進、地球温暖化防止実行計画策定事業、住宅用太

陽光発電システム設置助成事業、二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器導入助成事業、ごみの減量化・再資源化のための諸施策などです。

### ◎農林関係

新規就農者等支援制度研修助成事業、有害鳥獣捕獲事業、山間急傾斜地帯県単土地改良事業及び基盤整備促進事業での農道の整備、中山間地域総合整備事業・塩田地区県営土地改良事業・岩崎地区県営湛水防除事業に対するの負担金の計上による基盤整備の促進、数量調整円滑化推進事業、森林整備担い手対策事業、森林整備地域活動支援事業、木造住宅建設助成事業及び林道整備事業などです。

### ◎商工観光関係

商工会助成を通じての商業振興、宮の郷工業団地企業誘致推進、観光資源の有効活用と各種イベント助成による観光振興対策事業などです。

### ◎土木関係

緊急地方道路整備臨時交付金・合併特例事業債・過疎対

策事業債等を活用しての幹線市道をはじめとする市道整備事業などです。

### ◎消防関係

防火水槽等の消防施設の充実、小型動力ポンプ付積載車・消防ポンプ自動車・高規格救急自動車の購入、コミュニティ消防センター建設事業などです。

### ◎教育関係

パーソナルコンピュータ・インターネット導入による教育の充実、年次的な学校建物等環境の整備及び備品の充実、教育支援センター設置事業、ＴＴ特別配置事業での学校教育指導員の各校への配置、市内小学校への英語指導員の配置、ふれあいの船体験事業、中学生海外派遣事業、市体育協会への助成等による社会体育振興などです。また、生涯学習推進事業、ＩＴ施策としての情報技術講習会の開催、0歳児読書推進事業、郷土学習サークル活動事業等を通しての公民館活動の充実などです。

# 第1回 定例会

平成18年第1回定例会は、3月7日から24日までの18日間の会期で開催しました。

初日は、条例の制定・一部改正、市道の認定・廃止・変更、平成18年度一般会計予算及び特別会計予算など議案61件が上程されました。

2日目は、議案質疑の後、採決し46議案を原案のとおり可決しました。

常任委員会は、10日・13日・14日・15日の4日間開き、付託された予算・請願陳情事件について審議しました。

一般質問は、13人が市政全般について、考えを問いました。

最終日は、常任委員会へ付託した予算並びに請願陳情事件の審査報告、議員提出議案3件、人事案件1件、平成18年度補正予算などについて審査し、いずれも原案のとおり可決、同意し閉会しました。

# 総額 378億6,036万2千円

(単位：千円)

会 計 名	予算額
一般会計	20,940,000
国民健康保険特別会計	4,679,000
事業勘定	4,458,000
診療施設勘定	221,000
老人保健特別会計	4,867,385
公共下水道事業特別会計	687,000
公営墓地特別会計	11,100
農業集落排水事業特別会計	1,134,000
介護保険特別会計	2,997,000
簡易水道事業特別会計	939,000
宅地造成事業特別会計	93,000
戸別浄化槽整備事業特別会計	178,000
那珂地方公平委員会特別会計	400
温泉事業特別会計	188,000
上水道事業会計	1,146,477

# 平成18年度 各会計予算 決

## 国民健康保険特別会計

事業勘定では、保険給付費や介護保険の第2号被保険者に係る介護納付金等の計上、脳ドック・人間ドック検診費用を計上し疾病の早期発見、早期治療を図ります。  
また、平成18年度において国保税不均一課税の一部は正を予定しています。  
診療施設勘定では、美和診療所、緒川歯科診療所に係る運営経費です。

## 老人保健特別会計

医療費推計は17年度の実績等を踏まえ今後の動向に注目し適正な医療費給付に努めます。

## 公共下水道事業特別会計

下水道幹線及び枝線の管渠布設工事を実施します。

## 公営墓地特別会計

墓地内管理、清掃の例年経費のほか、大宮公営墓地内駐車場整備工事を実施します。

## 農業集落排水事業特別会計

岩瀬地区・美和中部地区及び小瀬地区の集落排水管路工事を実施します。引き続き処理施設処理管理及び維持管理業務を行います。

## 介護保険特別会計

介護認定審査に係る経費、介護サービス給付費負担金等を計上するとともに、介護保険制度の改正に伴い、介護予防推進事業に係る地域支援事業費を新設し実施します。

また、第3期介護保険事業計画に基づく介護保険料の改定を予定しています。

## 簡易水道事業特別会計

緒川地域の統合簡易水道事業に伴う配水管布設替工事を実施するほか、簡易水道施設の維持管理に努めます。

## 宅地造成事業特別会計

山方「野上原団地」及び美和・鷲子「仲島団地」の分譲

地等の分譲事業費・管理費等です。

## 戸別浄化槽整備事業特別会計

山方地域、美和地域及び緒川地域において95基の浄化槽を設置する計画です。

## 那珂地方公平委員会特別会計

常陸大宮市、那珂市、東海村及び大宮地方環境整備組合からの負担金により運営しています。

## 温泉事業特別会計

市内3温泉施設における管理運営費等です。

## 上水道事業会計

第1浄水場受電設備改修工事及び排水処理施設築造工事の実施、道路改良等に伴う配水管布設替工事を予定しており、管路診断業務委託経費を計上し、有収率の向上に努めます。

## 平成18年第1回定例会議決一覧表

	議 案 名	議決結果
議案第22号	常陸大宮市豊かな自然と調和したまちづくり基金条例	原案可決
議案第23号	常陸大宮市国民保護対策本部及び常陸大宮市緊急対処事態対策本部条例	原案可決
議案第24号	常陸大宮市国民保護協議会条例	原案可決
議案第25号	常陸大宮市環境基本条例	原案可決
議案第26号	常陸大宮市部設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第27号	常陸大宮市監査委員条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第28号	常陸大宮市職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第29号	常陸大宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第30号	常陸大宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第31号	常陸大宮市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第32号	常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第33号	山方町、美和村、緒川村及び御前山村の編入に伴う常陸大宮市国民健康保険税条例の適用の経過措置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第34号	常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第35号	常陸大宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第36号	常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第37号	常陸大宮市営公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第38号	常陸大宮市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第39号	常陸大宮市農業集落排水事業分担金に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第40号	常陸大宮市土地開発事業の適正化に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第41号	常陸大宮市市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第42号	常陸大宮市上水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第43号	茨城県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案第44号	茨城租税債権管理機構規約の変更について	原案可決
議案第45号	指定管理者の指定について（山方リフレッシュふるさと推進施設他13施設）	原案可決
議案第46号	指定管理者の指定について（山方ふれあい農園）	原案可決
議案第47号	指定管理者の指定について（軽費老人ホーム）	原案可決
議案第48号	指定管理者の指定について（美和総合福祉センター・緒川老人福祉センター）	原案可決
議案第49号	指定管理者の指定について（美和物産センター）	原案可決
議案第50号	指定管理者の指定について（やすらぎの里公園）	原案可決
議案第51号	指定管理者の指定について（緒川物産センター）	原案可決
議案第52号	指定管理者の指定について（ごぜんやま温泉保養センター・直売所・加工所）	原案可決
議案第53号	指定管理者の指定について（おのみやコミュニティセンター）	原案可決
議案第54号	指定管理者の指定について（玉川村駅交流センター）	原案可決
議案第55号	常陸大宮市道路線の認定について（17路線）	原案可決
議案第56号	常陸大宮市道路線の廃止について（10路線）	原案可決
議案第57号	常陸大宮市道路線の変更について（4路線）	原案可決

当初予算は2ページ、補正予算、人事については5ページに掲載しています。

## 監査委員増員

### 石川幸太郎氏を選任

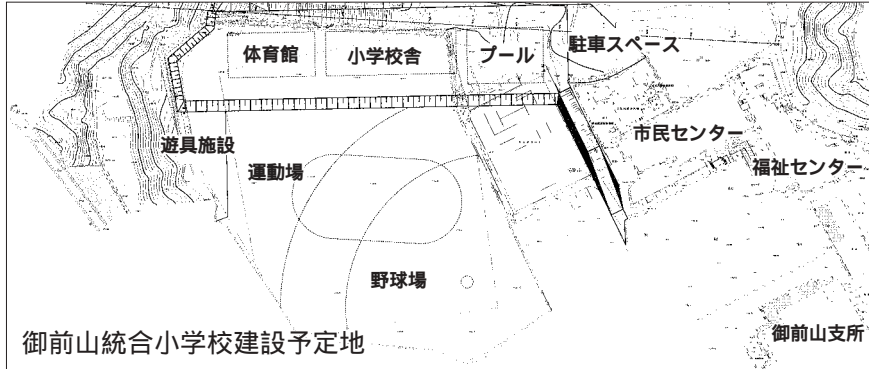
那賀



監査機能の強化のため、監査委員を増員することに伴い、提案されたものです。このことにより、委員は2名から3名になります。

## 行政報告

自治功労者の表彰について  
人事の発令について  
野上原宅地分譲状況について  
建設工事請負契約の締結について  
常陸大宮市男女共同参画計画について  
常陸大宮市過疎地域自立促進計画の一部変更について  
御前山地域統合小学校建設計画の経過について



御前山統合小学校新校舎の建設にあたり、旧御前山村の建設委員会での検討結果を踏まえ、総合運動公園周辺を建設候補地とした測量調査を実施しました。その調査結果を基に常陸大宮市御前山地域統合小学校建設委員会において協議した結果、左平面図(案)を今後の基本計画とすることに決定しました。

## 議員提出議案

### 常陸大宮市議会議員定数は法定数上限の26人に決定

議員提出議案第1号として、最終日の24日に定数条例の一部改正を提出し、市議会議員定数を26人で可決しました。

討論が行われ、賛成者からは、5町村の合併であり、地域の住民の声を市政に反映させるためには、上限数の26人が最適との意見があり、反対者からは、議員定数を法定数上限26人より2人から4人削減し、近隣市町村と同様、市の財政事情も考慮すべきとの意見が出されました。

### 意見書

森林及び林業に関する施策の充実並びに財源確保を求める意見書  
医師確保と地域医療の充実を求める意見書  
(詳細については、14・15ページを参照ください。)

## 平成17年度補正予算可決

(単位：千円)

会計名	補正額	予算総額
一般会計(第8号)	726,465	25,885,321
国民健康保険特別会計(第4号)	32,907	4,607,536
事業勘定	31,919	4,371,131
診療施設勘定	988	236,405
老人保健特別会計(第2号)	99,813	5,060,098
公共下水道事業特別会計(第5号)	6,391	751,809
公営墓地特別会計(第2号)	1,680	14,446
農業集落排水事業特別会計(第4号)	2,021	800,270
介護保険特別会計(第4号)	219,224	2,786,064
簡易水道事業特別会計(第5号)	59,979	805,907
宅地造成事業特別会計(第2号)	51,521	196,855
戸別浄化槽整備事業特別会計(第3号)	54,176	138,525
温泉事業特別会計(第3号)	25,448	419,752
上水道事業会計(第3号)収益の支出	1,925	666,997

## 平成18年度補正予算可決

(単位：千円)

会計名	補正額	予算総額	主な内容
一般会計(第1号)	52,500	20,992,500	医療機器購入

# 議員定数調査特別委員会

委員長 河野 洪勲

第1回特別委員会を平成17年12月19日午前10時より開会いたしました。その結果と経過を申し上げます。

議員定数調査にあたり、県下の市の状況等について参考資料を求め、また、定数の問題は合併協議会により在任特例が決定され、合併時における議会の運営等を旧町村等で話し合った内容について意見を求めました。定数については、全国の本市に類似する市の資料をもとに法定上限数を基本として慎重に審議すべきということで、第1回の調査を終わりました。

第2回の調査を2月23日に行いました。主な調査は、那珂市と常陸太田市の審議状況を事務局に説明を求め、資料として全国の類似する市の状況、また、委員から常陸太田市の参考資料等が示され、慎重に審査すべきとの意見があり調査を終わりました。

第3回の調査を、3月2日午前9時から行いました。参考資料をもとに、全委員の意見を求めました。その結果、5町村合併という観点、市民の声は大きくという観点から、次回議員の定数は、賛成多数で26名が妥当ということで決定しました。

**定数  
26名に決まる!**



開催日	
第1回	平成17年12月19日
第2回	平成18年2月23日
第3回	平成18年3月2日

# 陳情審査特別委員会

委員長 岡崎 不忘

本委員会は、平成17年第4回常陸大宮市議会定例会において「陳情第8号常陸大宮市議会早期解散を求める陳情」の審査について付託を受け、これまで4回にわたり委員会を開催してきたところであります。

陳情の要旨が、市議会の解散を求めているため、市議会議員の在任特例に至る経緯、合併特例法の定めにより平成19年9月17日まで在任する合併協議会、議会の議決、議員経費にかかる削減状況（報酬を旧町村の額に据え置く決定により約1億6千万円余の経費削減）また円滑なる議会運営を行っており、さらには多様な住民の意見、サービスの向上や周辺地域の格差是正を図り、市民の意思の把握などについて慎重に審議をしてまいりましたが、結論に至らず、継続調査とすることになりましたので報告いたします。

**中間報告**



開催日	
第1回	平成17年12月16日
第2回	平成18年2月7日
第3回	平成18年2月27日
第4回	平成18年3月6日



# 市政を問う

## 一般質問!

第1回定例会の一般質問に、13人の議員が登壇し、44事項について質問を行いました。

紙面の都合上、1人1項目を質問者が要約し掲載しました。

なお、議会広報に掲載していない質問事項について知りたい方は、議会事務局、総合支所、図書情報館、及び公民館に会議録がありますので閲覧ください。



## 一般質問

### 生徒が減少する中での中学校部活動について 高村正美 議員

生徒数推計

学 校	平成18年	平成29年
大 宮 中	440名	426名
大 宮 一 中	168名	113名
大 宮 二 中	234名	212名
山 方 中	221名	132名
美 和 中	113名	66名
緒 川 中	144名	61名
御 前 山 中	112名	86名

市内7中学校は、生徒全員が何らかの部活動に入部することが原則になっています。高校に行けば部活に入部する生徒は20%にも満たないとも言われます。長い人生の中で、中学3年間の部活ではありませんが、何らかの大きなウェイトを占めるのではないかと思います。生徒が減少する中での活気ある部活。新入生の希望する部への入部。スポーツ少年団の育成と中学校部活のかかわり方。楽しく充実した中学校生活「部活」を送るための考え、方策を伺います。

**地域連携により  
充実を図りたい**

教育長

市は7中学校、4高校との地域連携を図っていますので、このような視点から、さらなる運動部活動の充実を図っていききたいと考えています。

スポーツ少年団との関係については、スポーツ少年団を地域のスポーツクラブというような位置づけをし、中学校との連携を図りながら、お互いに子供たちの個性とその能力を伸ばすべく、部活動の展開について今後も研究したいと考えています。また、保護者、学校との話し合いのもとで活性化し、子供たちが充実した部活動ができるよう今後もさらに検討を進めていきたいと考えています

### その他の質問事項

- ・ 農業用水路管理 改修について
- ・ 県道拡幅改良について

常陸大宮済生会病院の果たす役割は多大なものがあると思われれます。その経済効果について質問します。

入院・外来・その他医療関係者の人数見込みは。

病院医療経費とその他の金額は。

周辺地域への経済効果はどのようなもので、どの位見込まれるのか。

開院に伴う地域活性化対策は。

美和診療所改築との関係は。



美和診療所受付

その他の質問事項

- ・常陸大宮市の商工業行政について
- ・市の企業誘致について
- ・市内循環バス運行について

周辺地域への経済効果が期待される

保健福祉部長

1日平均で入院患者145人、外来患者320人が想定され、医療関係者は全体で約200名程度が予定されています。

病院医療経費は、病院がフル稼働した場合、概算で25億円を想定しています。

病院開設に伴う院外薬局の開設、医師・看護師等の住宅需要の増加等により周辺地域への経済効果が期待され、また今後、医療体制の充実に伴い、定住化や転入人口の増加も想定され、定住化を促進する施策等を進めていく必要があると考えています。

美和診療所の改築については、済生会病院との連携を前提とし、今後、地域医療としての位置づけ、改築等を含め、さらに協議を進めていきたいと考えているところであります。

決められたコースを走る従来のバスでは停留所に遠い方は利用できません。また交通システムを利用する方は、病院目的の方は体の調子が悪く、買物目的の方は重い買物袋を持っています。雨も降ります。

このような利用者の立場に立つなら、なぜ固定ルート型の運行システムを選んだのか理解できません。

市内循環交通システムは、すべての人が利用可能な「IT技術を採用した新しい公共交通システム」であるデマンド型交通システムを導入することを強く求めます。

全地域固定ルート方式を前提に運行を図ってほしい

総務部長

これまでの検討委員会の検討等を踏まえた中で、全地域固定ルート方式を前提に運行を図っていきたくと考えています。具体的な運行コースあるいは運行時間等詳細な運行計画等については、今後決定することになります。

しかし、これまでも議員各位からご意見等も多くいただいております、それらの点も十分考慮した中で細部の調整を行い、次の協議をいただくとともに、準備を進めてまいります。

その他の質問事項

- ・宮の郷工業団地へのPCB廃棄物処理施設計画について
- ・国民健康保険について
- ・常陸大宮済生会病院について
- ・大宮地域の中学校校舎の整備について





## 活力と均衡ある新市の構築について

皆川 忠雄 議員



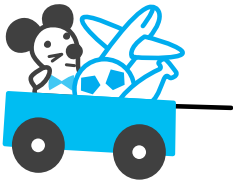
長期人口減少時代に入り、労働人口の激減予測、集落機能崩壊危機、医療・介護制度崩壊危機、財政危機等が増大する中、その基本政策としてより一段と実効性ある少子化対策が極めて重要です。  
今日までの国及び本市の対策の問題点と少子化最大の要因である晩婚化、未婚化対策、女性の子育てと仕事の両立できる雇用対策整備を中心とした、今後の総合的構想と重点施策を伺います。

次世代育成支援  
対策計画により、  
各種事業を推進する

市長

次世代育成支援対策計画は、子育て支援サービスの充実、児童相談体制の確立、児童の健全育成及び安全の確保、仕事と子育ての両立などの基本施策に基づく各種事業の実施計画を定めたものであり、この計画を少子化対策の重点施策に位置づけ、各種事業の推進を図る考えです。

市としては、少子化対策の柱とする子育ての支援事業をさらに推進するため、平成18年度から、第3子以降の児童に係る保育料無料化の実施、また、医療福祉事業の児童の入院医療については、小学校卒業までを対象とする考えです。



## 低所得者に市独自の保険料・利用料の減免制度を

押久保 一郎 議員

今回の介護保険料の引上げは、高齢者に耐え難い負担を強いるもので、到底容認できません。

市の資料では、御前山地域の第一号被保険者は1,346人、このうち63・6%の引上げに該当する人は1,063人で90・9%の引上げとなる第七段階12人を含めると約80%の人が大幅な引上げとなる計画です。

市全体で見ても10,022人で79%の人が大幅な引上げとなります。低所得者に対する市独自の保険料、利用料の減免制度の創設を求めて考えを伺います。

現時点では  
考えていない

市長

保険給付費も年々増加しているところであり、介護保険料について、介護保険制度は、市独自の減免を行うと、一方でその額を負担していただく方が出てきます。このようことから、現時点では保険料や利用料の軽減は考えていません。

### その他の質問事項

- ・御前山地域の統合小学校建設について
- ・市内循環交通システムについて



## オカリナの里構想について



宗次郎コンサート

全国的に有名なオカリナの演奏者である宗次郎先生が、本市の吉丸に在住している。そうした芸術家が住んでいるだけでも素晴らしい市の財産であると思う。

先生のご協力をいただき、常陸大宮市を香り高い文化の里に思うが、考えを伺います。

### その他の質問事項

- ・ 学校教育について
- ・ 防火について

野外コンサートの実施等を考えている

### 助役

宗次郎さんも自然豊かな地域で、野外コンサートを実施したいという構想を持っています。できれば本年度完成する緒川総合運動公園で、実施したいという話もされています。オカリナの工房や、室内演奏施設等を、その近くの土地を拝借して建設したいというようなこともお話しされています。

市有地が随分残っていますので、その辺はこれからも検討していきたいと思っています。

今後は、宗次郎さんと内容を詰めて、常陸大宮市としても、そういう場ができれば大きな活性化につながるものと思っています。

## 『三位一体』改革について



国において、地方自治体側の要請を受けながら、地方分権社会の推進を旗印に、国・地方とも持続可能な改革の成果と強調した「三位一体改革」の姿が示された。

国庫補助金改革・税源移譲・地方交付税削減改革を一体のものとして、平成16年度から18年度の3年間で、地方側に厳しい内容でほぼ決着したが、常陸大宮市においてのそれぞれの影響額と評価について伺いたい。

### その他の質問事項

- ・ 市町村合併について
- ・ 財政運営について
- ・ 人事院勧告について

特に普通交付税の影響が大きかったと認識している

### 総務部長

平成16年度から18年度までの三位一体改革に伴います国庫補助負担金の影響額は、総額で約3億円となる見込みです。次に、地方交付税の改革による影響額として、3力年で普通交付税、臨時財政対策債の合算額は、約14億4,000万円の減額となっています。さらに税源移譲に伴う所得譲与税の譲与総額は、3年間の合計で現在約6億円を見込んでいます。

以上のように、三位一体改革の中で、国庫補助負担金の改革については、譲与税等でカバーされていますので、特に普通交付税での影響が顕著であると認識をしています。

# 介護保険料の大幅引上げは見直しを

堀江仙三 議員



介護パンフレット

来年度から介護保険料の大幅引上げが提案されています。基準額で旧御前山村は63・6%、旧美和村は61・2%、旧緒川村51%、旧大宮町と山方町は28・6%の大幅な引上げは異常です。さらに税制改正により公的年金等控除の縮小、老年者控除の廃止、非課税限度額の廃止、定率減税の半減という改悪が同時に行われ、高齢者に耐え難い苦痛を押し付けています。合併は「福祉サービスは高い水準に、負担は低い水準に調整される」といつてきました。一般会計からの繰入れで引上げを抑えるべきです。

法定外負担の繰り入れについては、考えていない

市長

今後3カ年間の介護保険サービス給付費の総額を見込み、その19%の額について、制度に基づいて、第一号被保険者の皆様に「負担をいたたくものです。介護保険事業計画、高齢者保健福祉計画の各種施策を着実に実施し、健全に安心して暮らせるまちづくりを進めるための財源ですので、「ご理解をお願いします。」

保健福祉部長

介護保険法では、給付と予防給付に要する費用の12・5%に相当する額について法的に市町村で負担することになっていますが、その他の一般会計からの負担、いわゆる法定外負担の繰り入れについては、現在のところは考えていません。

## その他の質問事項

- ・市内循環交通システムについて
- ・入札及び契約について

# 協働のまちづくりについて

仲田好一 議員



市民と行政が共に理解し、役割を担い合う「協働のまちづくり」が強く求められています。目的と背景をどう認識しているか。

市長

市民へのさらなる情報や開示が欠かかせないが、今後どう取り組むのか。受付・相談窓口、広報体制の現状は。

総務部長

団塊の世代が積極的に参加し活躍できるよう、支援や機会の提供をどう創るのか（ボランティア養成講座の開催等）高齢者の知恵や経験を生かした「まちづくり」の一層の推進について

自主自立のまちづくりを取り組みたい

市民と行政が共通の目的を共有し、それぞれの持つ特性を生かしながら対等な立場で自主自立のまちづくりに取り組みたいと考えています。

団塊の世代の就業等の支援、まちづくり活動への参画など、能力を生かした活躍の場、機会の提供に努め、また高齢者の方々が、能力を生かし、社会参加が図られるよう生涯現役を基本としたまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

## その他の質問事項

- ・行政改革について
- ・介護保険について
- ・道路等の整備について

# 少子化対策をどのように進めるのか



少人数クラス

## その他の質問事項

- ・緒川ダム建設中止に伴いつくられた地域振興計画は今どう取組んでいるのか
- ・(株)ふるさと活性化センターみわについて

少子化対策として、猪口少子化担当相は、重要施策としてその考えを示し、子育てと仕事の両立ができるよう支援すること、若い子育て世代に経済支援をすることをあげ、今後取り組んでいきたいと、その考えを示しました。

本市としては、何を重点として取り組んでいくのか、また少子化対策として、お母さん方に三人以上のお子さんを産んでいただけるような、思いついた対策づくりを図ることも大切ではないか。

## 今後も各種事業の推進を図る

市長

少子化対策については、次世代育成支援対策行動計画の重点策として、各種事業を実施しています。地域における子育ての支援対策、児童相談及び児童虐待防止対策、児童の安全対策、また、児童の教育環境の整備、仕事と子育ての両立、母子の健康増進、小児医療対策などを基本施策として、今後も各種事業の推進を図る考えです。

保健福祉部長

現在、介護保険事業計画画策定委員会で、18年度からの第3期介護保険事業計画について審議しているところです。

この委員会での報告を受けて第3期の介護保険料を検討することになりますが、保険料の額の提示までには至っていない状況です。

# 経費の削減について



総合案内

本市の財政状況は大変厳しい状況下であり、今後思いきった経費の削減が必要です。

一点目、本庁では、日常清掃、総合案内、電話交換業務を民間に委託しているが、その費用は年間どのくらいか。特に庁舎内の日常清掃は、職員が朝少し早く出勤し、職場内の清掃等を実施するのが当たり前です。総合案内、電話交換業務も同様です。委託すべきではないかと思いが考えを伺います。

## 業務委託による清掃が効率的と判断する

総務部長

清掃業務委託につきましては年間509万2千円になります。それと、総合案内及び電話交換業務委託については630万円です。庁舎清掃の目的、業務の専門性、特殊性、あるいは経費等から考えますと、業務委託による清掃が効率的と判断しております。

日常清掃では、庁舎敷地内の清掃等を毎日、職員が早出勤の中で対応をしているところです。

それと、公用車の洗車にかかる件ですが、美和以外は職員による洗車が原則です。洗車費用等については計上しておりますので、ご理解を賜わりたいと思います。

## その他の質問事項

- ・財政状況について

# 国保税・介護保険料の大幅引上げについて 堀江 鶴治 議員

国保税・介護保険料の引上げの二つの条例は、住民に重い負担を強いる内容です。旧町村によって税率も格差が大きい、国保税の収納状況にも極端な差があるなど、問題点も多い。税率引上げの明確な根拠及び説明を求めたい。

年金・医療制度の改悪、定率減税の半減など住民負担の強化が進む中、追い打ちをかけるような、国保税の引上げ、介護保険料の大幅引上げはやめるべきと思う。千名を超える反対署名が出されているが、住民の引上げ反対の声を真摯に受け止めての対応をとるべきと考える。

## その他の質問事項

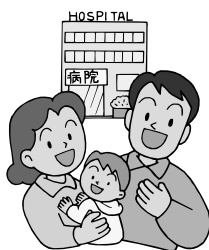
- ・平成18年度市政運営基本方針
- ・医療制度の大改悪について
- ・市内循環交通システムの構築は交通の便の悪い地域の住民の足の確保を重点に
- ・市道吉田北田線及び三賀線の改良工事を早く完了し、循環交通システムのコースとして位置づけを
- ・白谷地区(旧緒川村)への産業廃棄物処分場建設問題について

税率は早い時期に統一することになっている

市長

今回の国保税改正については、統一化に向け旧5町村の中では被保険者の過半数を占める旧大宮町の税率を基準とします。合併協定書で、税率を調整し早い時期に統一することとなっていますので、平成19年度以降の税率についても鋭意検討していきます。

国保税、介護保険料の引き上げ反対の請願については、その思いは真摯に受けとめたいと思いますが、事業の健全で円滑な運営を図っていくためには税率改正は避けることができないものであり、市の広報紙での周知等により、ご理解をいただくよう努めていきたいと思えます。



# 総合病院開院について 浅川 克巳 議員

地域医療の切り札として市民永年の夢であった第二次救急医療及びへき地医療に対応できる総合病院がオープン運びとなります。その中で医師の確保が課題ですが、へき地医療従事者養成を目的にした自治医大から院長を迎えたのはタイムリーです。

本市出身で他地域へ勤務医として多くの人がいるが、故郷へ錦を飾る意味でも協力が得られれば幸いです。施設、設備、医療機器等の充足率はどうなっているのか。地元出身医師への対応策の考えを伺います。

地元出身医師へも協力を要請をしている

市長

運営者となる済生会や医師等の意向を踏まえた中、地域の医療事情に合った高度な医療機器等の施設整備をし、特に患者の病状を診断する最も重要な放射線機器としてMRI、マルチヘリカルCT、多目的血管造影装置、超音波診断装置などの先進機器を初め、心電図モニタ装置や内視鏡等、診療科ごとの器具及び手術用器具など主立った設備、医療機器類は発注が済んでいます。

また、地元出身医師への対応ですが、本市出身の医師については幾人かからの情報をいただき、直接あるいは間接的に協力要請をしているところです。今後も協力を要請していきたいと考えています。

## その他の質問事項

- ・行政の効率的活用について
- ・高齢者の災害対策について



常陸大宮済生会病院

## 森林及び林業に関する施策の充実並びに財源確保を求める意見書

地球温暖化防止を掲げて昨年2月に発効した「京都議定書」において、我が国は、温室効果ガスを6%削減することを国際社会に約束した。このうち、我が国の森林には吸収源として3.9%の削減が課せられているが、これを確実なものとするためには「森林・林業基本計画」に基づく計画的な森林整備などの吸収源対策の推進が必須である。

ところが、我が国の森林・林業・木材産業の現状をみると、国産材の需要及び木材価格の長期的な低迷や林業労働力の減少等により、林業生産活動は停滞し、間伐をはじめとする森林の管理が行き届かず、その結果として山地災害が多発しており、このままでは二酸化炭素吸収源としての役割はもとより、国土を保全し国民の安全な暮らしを守るという役割も果たすことができなくなることが懸念される。

また、違法な森林伐採の阻止は、昨年7月のグレンイーグルスサミットでも合意されたところであるが、違法伐採は、森林の減少・劣化を招き、地球温暖化を加速させるほか、違法伐採による木材が市場に流通することで、我が国でも健全で持続可能な森林経営が阻害されており、その対策は喫緊の課題である。

以上のように、我が国の森林・林業・木材産業が厳しい環境におかれている現状や、森林が公益的機能を有する社会的資産であることを踏まえ、平成19年度予算等において、特段の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 「森林・林業基本計画」に基づく森林の整備・保全及び山地に起因する災害を防ぐための治山対策を推進し、併せて「緑の雇用」事業による人材の育成及び確保を支援すること。
- 2 伐採の長期化に伴う森林経営の実態に即した借り換え融資制度の創設など、森林・林業・木材産業の再生に向けた施策を展開し、更には地域林業の担い手としての林業公社に対する支援措置を強化すること。
- 3 持続可能な森林経営の推進に支障となる違法伐採を防止するため、原産地等表示木材を普及推進し、併せて消費者へ情報提供すること。国際的にはWTO林産物関税の堅持により違法伐採木材の輸入阻止を図ること。
- 4 地球温暖化防止対策を確実に推進するため、環境税の創設により安定的な財源を確保し、その使途に、森林吸収源対策、木材利用の推進を位置づけること。

提出先	衆議院議長	参議院議長	内閣総理大臣	総務大臣	外務大臣
	財務大臣	農林水産大臣	経済産業大臣	環境大臣	

## 医師確保と地域医療の充実を求める意見書

最近、地域医療の中核を担ってきた自治体病院でも深刻な医師不足に陥り、病院の存続さえも揺るがすような事態となってきた。また、病気やけがをしても、安心してかかれる医療機関が身近にない地域も少なくない。こうしたなかで、多くの県民は命と健康の不安を抱え、医療環境の整備・充実を求めている。

しかしながら、平成16年4月から実施されている新たな医師臨床研修制度の必修化に伴う大学による医師の引き揚げや、医師の地域偏在等により、地域医療を担う医師の不足が深刻化している。特に、小児科や産婦人科については、病院経営の困難さや過酷な勤務条件などの要因により医師希望者が減少しており、医師の確保が極めて困難な状況にある。そのため、各地で診療の縮小・休止や廃止に追い

込まれる病院が相次いでいる。

このような医師不足は全国的な問題となっており、各自治体は、医師の確保に向けて懸命の努力を続けているが、大変困難な状況にあり、地域医療の確保・継続が危ぶまれている。

よって、国においては、地域における医師の確保に向けて、行政、大学、学会、医師会等と連携のもと、早急に実現されるよう強く要請する。

- 1 地域医療を担う医師の養成と地域への定着を促進するため、奨学金制度の構築や医学部入学定員の地域設定・拡大、一定期間の地域医療従事者の義務化など、新たなシステムを構築すること。
- 2 深刻化している小児科、産婦人科等の医師不足の解消に向けて、行政・大学・医療機関等の連携により抜本的な対策を講じること。
- 3 中核病院を主軸とした医療ネットワークの構築と連携の強化、医師をはじめ看護師、助産師等の医療従事者の必要人員の確保と養成など、地域医療の充実にに向けた諸施策を確立すること。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣  
 厚生労働大臣 文部科学大臣 財務大臣

## 第1回 臨時会

平成18年第1回臨時会は、1月30日に開かれ、常陸大宮済生会病院関係議案4件が審議され、いずれも原案のとおり可決しました。

### 請負契約の締結

常陸大宮済生会病院 循環器系超音波診断装置購入

契約金額 2,520万円

契約の相手方

株式会社 栗原医療器械店  
 水戸支店長 黒澤 藤男

(仮称)東北西部地域中核病院  
 建築工事請負変更契約

契約金額

1億815万円増額

変更増額後の総契約金額

15億6,555万円

(仮称)東北西部地域中核病院  
 機械設備工事請負変更契約

契約金額  
 3,675万円増額  
 変更増額後の総契約金額  
 9億3,555万円

(仮称)東北西部地域中核病院  
 電気工事請負変更契約

契約金額

4,987万5千円増額

変更増額後の総契約金額

4億2,262万5千円



## 第2回 臨時会

平成18年第2回臨時会は、2月15日に開かれ、公の施設の設置及び管理に関する条例3件、常陸大宮済生会病院関係議案1件が審議され、いずれも原案のとおり可決しました。

### 可決された条例

- ・常陸大宮市美和総合福祉センターの設置及び管理に関する条例
- ・常陸大宮市緒川老人福祉センターの設置及び管理に関する条例
- ・常陸大宮市御前山農産物加工所の設置及び管理に関する条例

### 請負契約の締結

常陸大宮済生会病院放射線等  
 機器購入変更契約

契約金額

4,252万5千円増額

変更増額後の総契約金額

4億1,002万5千円

# あなたが出された 請願。陳情は！

## 請願

件名	提出者	紹介議員	付託委員会	審議結果
森林及び林業に関する施策の充実並びに財源確保を求める請願書	全林野関東地方本部茨城分会 執行委員長 長嶋 正明	小室 正美 堀江 隆一	経済常任委員会	採択
常陸大宮市野口地内 市道8-1694号線（前原細内線）道路改良に関する請願書	皆川 秀一 外7名	皆川 勝博	建設常任委員会	採択
山方水利組合 水路補修に関する請願書	山方水利組合長 木村 治 外11名	掛札 幸博 高村 正美 木村 幹朗	経済常任委員会	採択
国保税の引き上げに反対する請願書	小室 道夫 外1070名	金子 卓 堀江 仙三 押久保一郎 堀江 鶴治	保健福祉常任委員会	不採択
介護保険料の大幅引き上げに反対する請願書	岡山 昭吉 外1119名	金子 卓 堀江 仙三 押久保一郎 堀江 鶴治	保健福祉常任委員会	不採択

経済常任委員会



土水路（山方）

建設常任委員会



野口地内

## 陳情

件名	提出者	付託委員会	審議結果
「医師確保と地域医療の充実を求める意見書」の採択を求める陳情書	水郡線地域共同運動連絡会 会長 大森 正喜	保健福祉常任委員会	採択
「公契約法制定を求める意見書」の採択を求める陳情書	水郡線地域共同運動連絡会 会長 大森 正喜	総務常任委員会	不採択



# 議会への請願・陳情

## 請願・陳情の提出方法

議会へ請願・陳情をしようとする方は、次の要領で提出してください。

- 1 件名、提出者の住所及び氏名（法人の場合はその名称及び代表者の氏名）、提出年月日を記載してください。
- 2 請願者が二人以上のときは、代表者を決めてください。
- 3 別紙に、趣旨及び理由を記載してください。
- 4 請願書には、1名以上の紹介議員の署名または記名押印が必要です。ただし、陳情書には必要ありません。
- 5 署名簿を添付する場合には、名簿に住所、氏名、押印の上、提出してください。
- 6 道路や河川など、場所に関するものについては、略図を添付してください。
- 7 意見書を関係行政庁に提出要望する場合は、意見書案を添付してください。

請願、陳情はいつでも受け付けますが、事務処理の都合もありますので、定例会招集日の7日前までに提出してください。それ以降のものについては受理しますが、審議は、次の定例会とさせていただきます。（緊急の案件は、議会運営委員会等で審議して決定します。）

(表紙)

平成 年 月 日

常陸大宮市議会議長  
〇〇〇〇 様

〇〇〇〇に関する請願書（陳情書）  
請願者  
住所 〇〇〇〇  
氏名 〇〇〇〇 印  
ほか〇人  
(TEL )

紹介議員  
〇〇〇〇 印  
(陳情の場合は、紹介議員は必要ありません)

(別紙)

件名〇〇〇〇に関する請願（陳情）

1 請願（陳情）の趣旨  
-----  
-----  
-----

2 請願（陳情）の理由  
-----  
-----  
-----

地方自治法第124条の規定により提出します。(陳情の場合は、除きます。)

## 経済常任委員会協議会

平成18年1月23日、「商工業振興の今後の課題について」をテーマとし、大宮町商工会（会長及び事務局長が出席）との懇談会を開催しました。

商工会から商工会の事業運営について説明を受け、委員からは、商工会の合併によるスケールメリット等に期待が寄せられました。

商工業活性化に向けた意見・要望等が交換され大変有意義な懇談会となりました。



商工会との懇談会

## 交通安全キャンペーン

4月13日(木)に緒川物産センター「かざぐるま」前の国道で、春の交通安全運動全国街頭キャンペーンが行われました。緒川地域の交通安全協会・交通安全母の会の皆さんと警察・市関係者33名が集い、行き交う運転手さんに笑顔で、事故防止と安全運転を呼びかけていました。

### 市民の皆様へ!

公職選挙法により議員個人の暑中見舞いなどのあいさつ状は禁止されていますので、ご了承ください。

### 表紙の言葉

4月24日(月)八里小学校で「交通安全教室」が開催されました。警察署や新たに設置された市の交通安全指導員が講師となり、腹話術、横断歩道の歩行練習や自転車の実技指導が行われました。



## 議会を傍聴してみませんか?

議場で、実際の議会を見てみませんか?  
ぜひ、傍聴にお越しください。

手続きは簡単で、受付簿に住所、氏名、年齢を書くだけです。

## 編集後記

豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち。市の将来像に描かれた「豊かな自然」が、いま最も美しい姿を見せております。

山の木々がいつせいに芽吹くのを目にし、田の面を渡る風を感じるとき、まさに自然と共生していることを実感すると同時に、その恵みに感謝せずにはいられません。

新しいまちづくりが、自然を守り、自然を活かしながら進められております。豊かな自然で健康な身体と豊かな心が養われ、このまちに住む幸せをだれもが誇りに思えるようになればと願っております。

### 広報委員会

#### 委員長

大貫 孝夫

#### 副委員長

五位淵 粂

#### 委員

細貝 富雄

駒田 強

岸 佐次郎

岡山 和夫

田中 二郎

木村 勝昭

編集 常陸大宮市議会広報委員会  
TEL 0295 - 52 - 1111 (代) 内線413  
0295 - 53 - 0393 (直)

〒319 - 2292 茨城県常陸大宮市中富町3135 - 6

FAX 0295 - 52 - 2186

eメール gikai@city.hitachiomiya.lg.jp